JVC

壁掛型非常業務放送設備／ EM-K100 シリーズ
設置説明書　補足版

施工業者の方へ

EM-K100 シリーズでは、いろいろな運用形態に対応できるよう多機能化しています。それに伴い、商業店舗などで日常よく使用されるBGMとアナウンスについて、従来機種から操作方法を変更しています。今回、よく使われるケースを想定して、マイクで放送開始すると自動的に BGM の音量を下げてミキシング放送するように、工場出荷値を変更しました。この設定に対応した操作方法については本説明書の2～3ページを参照ください。

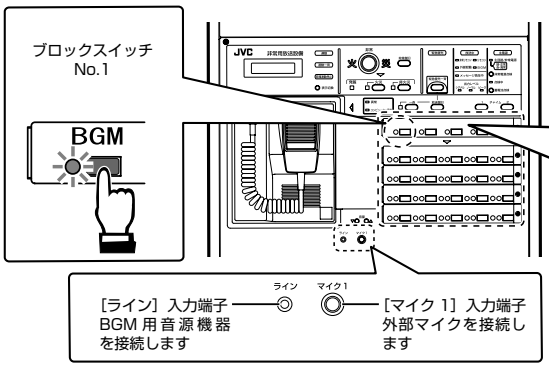
■ BGM とアナウンスについて（従来機種からの変更内容）

EM-K100 シリーズでは、業務放送の種類（放送グループ）ごとに優先順位を設定して放送をすることができます。
音楽などの BGM は、[BGM 放送] として放送することにより、優先順位を最下位で放送します。
アナウンスなどの [本体放送] やリモコンマイク放送などの各放送グループと、[BGM 放送] とを区別することにより、BGM ミキシングを個別に設定することが可能になりました。たとえば、[BGM 放送] 中に、リモコンマイク放送や外部起動など [本体放送] 以外の放送でも、自動的に BGM の音量を下げてマイク音声とミキシングして放送することができます。

BGM について [BGM 放送]

■ 放送方法

BGM ブロックスイッチを押して、[BGM 放送] にする



■ 接続端子

- フロントパネルの [ライン] 入力端子
- 機器内部 [ライン入力] 接続端子

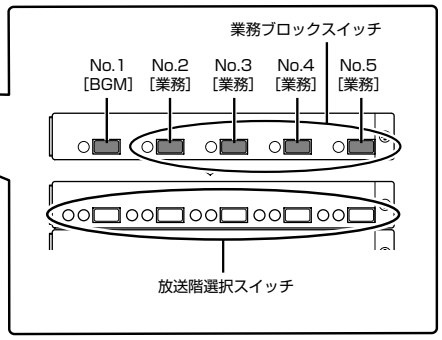
メモ：

- 工場出荷値では、ブロックスイッチ No.1 を [BGM 放送] 用としてすべてのスピーカー回線が登録されています。必要に応じて不要なスピーカー回線の登録を削除してください。（設置説明書 98 ページ参照）
- ミキシングされる BGM の音量は、機器内部の [BGM フェードレベル] 調整ボリュームで調整できます。（設置説明書 60 ページ参照）
- BGM をミキシングしたくない場合や、音量を下げたくない場合は、BGM ミックスのモード設定で変更できます。（設置説明書 87 ページ参照）
- 外部起動による自動放送用を行う場合は、機器内部 [BGM] 接続端子を使用します。（設置説明書４８ページ参照）

アナウンスについて [本体放送]

■ 放送方法

放送階選択スイッチまたは業務ブロックスイッチを押して、[本体放送] にする



■ 接続端子

- アナウンスマイク
- フロントパネル [マイク 1] 入力端子
- 機器内部 [マイク入力 2] 接続端子
- ユニットケースに組み込んだワイヤレスマイク

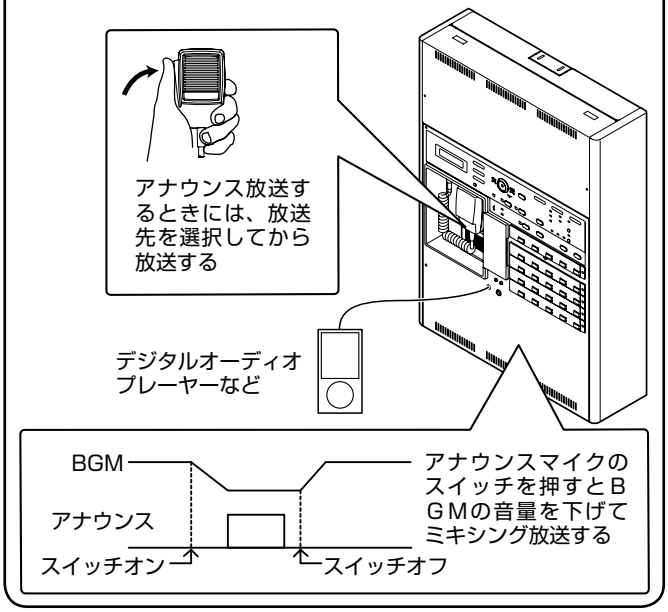
メモ：

- 工場出荷値では、ブロックスイッチ No.2 ～ 5 を [本体放送]（業務放送）用としてすべてのスピーカー回線が登録されています。普段よく使用する放送先を複数登録しておくことにより、ワンタッチで放送先を切り替えることができます。必要に応じて不要なスピーカー回線の登録を削除してください。（設置説明書　98 ページ参照）

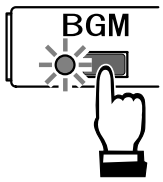
本機は、商業店舗などで BGM とアナウンスをミキシングして放送する使い方を想定し、マイクで放送開始すると自動的に BGM の音量を下げて放送するように、あらかじめ設定して出荷されています。この工場出荷値における運用方法の操作例を示します。

操作例 1：
本体のアナウンスマイクで放送する運用方法

下記の操作例は、「BGM 放送」で音楽などを放送し、アナウンスするときに、「本体放送」に切り替えて放送する使い方です。
業務リモコンなどを接続している場合でも、「本体放送」の優先順位を上位に設定しておくことが可能になります。（工場出荷値は、すべて 2 位（BGM は 6 位固定）に設定されており、後から操作した放送が優先になります）



1 BGM ブロックスイッチを押し、ライン入力に接続した BGM 機器を再生開始する

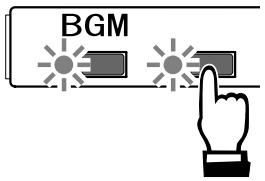


ライン入力が有効になり、登録されているスピーカー回線がオンになります。

BGM 機器の再生を開始すると、ブロックスイッチに登録されたスピーカー回線に BGM が放送されます。

メモ：
- 工場出荷値では、すべてのスピーカー回線が登録されています。
- 機器内部の [ライン入力] 端子に接続された機器からも放送できます。

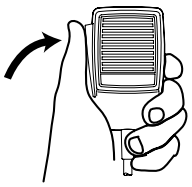
2 アナウンスするときは、放送したい場所を選ぶ



業務ブロックスイッチ（No.2 ～ 5）または、放送したい場所の放送階選択スイッチを押します。

メモ：
- 工場出荷値では、業務ブロックスイッチは、すべてのスピーカー回線が登録されています。

3 マイクで話す



アナウンスマイクのスイッチを押すと、BGM の音量を下げて、マイク音声とミキシングして放送されます。

アナウンスマイクのスイッチを離すと、BGM 音声が元の音量に戻ります。

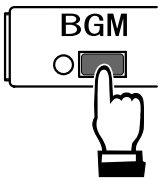
メモ：
- 下記端子に接続したマイクでは、**マイク音声を検出する**と BGM の音量を下げて、マイク音声とミキシングして放送されます。
  - ・フロントパネル [マイク 1] 入力端子
  - ・機器内部 [マイク入力 2] 接続端子
  - ・ユニットケース（ワイヤレスマイク）

4 アナウンスを終了する

放送復旧スイッチを押します。

アナウンスは終了し、BGM は継続します。

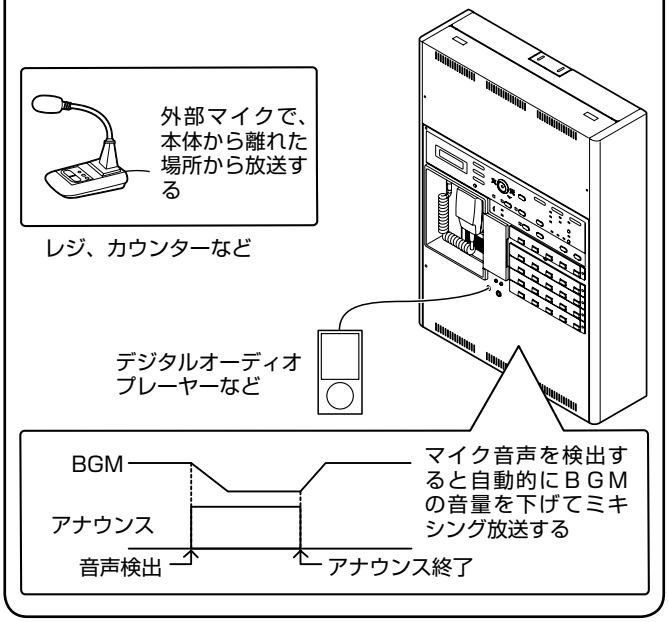
5 BGM を終了する場合には



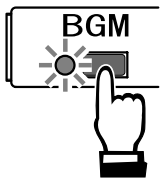
もう一度 BGM ブロックスイッチを押してオフにします。

操作例２：
本体から離れた場所のマイクで放送する運用方法

下記の操作例は、「本体放送」で BGM を放送状態にしておき、アナウンスを始めると自動で BGM の音量を下げてミキシング放送をする使い方です。
外部マイクやワイヤレスマイクを使用して、本体から離れた場所でアナウンスをする場合に適しています。



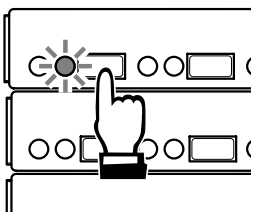
1 BGM ブロックスイッチを押す



ライン入力が有効になり、登録されているスピーカー回線がオンになります。

メモ：
- 工場出荷値では、すべてのスピーカー回線が登録されています。

2 放送したい場所を選ぶ



放送する場所の放送階選択スイッチ、または業務ブロックスイッチを押します。

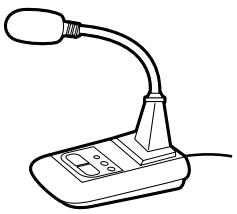
選択したスピーカー回線だけオンになります。

3 ライン入力に接続した BGM 機器を再生開始する

選択した放送先に BGM が放送されます。

メモ：
- BGM ブロックの工場出荷値はすべてのスピーカー回線が登録されていますが、BGM は手順２で選択した放送先のみに放送されます。
- 機器内部の [ライン入力] 端子に接続された機器からも放送できます。

4 マイクで話す



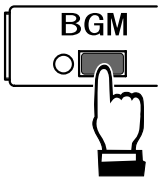
接続されているマイクで話すと、BGM の音量を下げて、マイク音声とミキシングして放送されます。

マイクで話すのをやめると、BGM 音声が元の音量に戻ります。

メモ：
- 下記端子に接続したマイクで BGM とミキシング放送が可能です。
  - ・アナウンスマイク
  - ・フロントパネル [マイク１] 入力端子
  - ・機器内部 [マイク入力2] 接続端子
  - ・ユニットケース（ワイヤレスマイク）
- アナウンスマイクのスイッチを押しても同様に放送ができます。
- 放送する場所を変更したい場合は、放送階選択スイッチを押します。

5 放送を終了する

放送を終了するときには、下記の操作で BGM と本体放送の両方を終了します。



BGM ブロックスイッチを押してオフにします。

BGM が終了します。

放送復旧スイッチを押します。

本体放送が終了します。

工場出荷値の変更内容について

システム設定の下記項目について工場出荷値を変更しています。取扱説明書および設置説明書に記載の内容と異なる場合がありますので、ご了承ください。

メニュー項目	選択肢	詳細項目	工場出荷値の変更内容	
			変更前	変更後
1-3-4. BGM ミックス	ミックスホウソウ：ホンタイ	マイクレンドウ	ナシ	アリ
		BGM ミックス	オフ	ミューティング
1-4-4. ブロックスイッチ	ブロックスイッチ No.：1	ホウソウメイ	BGM	(変更なし)
		カイセンセンタク	1	全回線※
	ブロックスイッチ No.：2	ホウソウメイ	BGM	ギョウム
		カイセンセンタク	2	全回線※
	ブロックスイッチ No.：3	ホウソウメイ	BGM	ギョウム
		カイセンセンタク	3	全回線※
	ブロックスイッチ No.：4	ホウソウメイ	BGM	ギョウム
		カイセンセンタク	4	全回線※
	ブロックスイッチ No.：5	ホウソウメイ	BGM	ギョウム
		カイセンセンタク	5	全回線※

※ 1 ～ 10 : EM-K100-10
1 ～ 15 : EM-K100-15
1 ～ 20 : EM-K100-20

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

0120–2727–87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950 [代表]
FAX(045)450-2308
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2014 JVC KENWOOD Corporation

LST1198-001B